

2005年7月29日

財団法人日本産業デザイン振興会

2005年度グッドデザイン賞の審査対象総数が3,000件を突破

デザインへの社会的な関心の高まりを受けて、過去最多の参加企業数1,302社を記録

日本唯一の総合的デザインプロモーション機関である財団法人日本産業デザイン振興会(東京都港区、会長:山口信夫)は、現在2005年度グッドデザイン賞(Gマーク)の審査を進めています。このほど、今年度のグッドデザイン賞の審査対象総数が3,007件*と3,000件を超え、参加企業は過去最多となる1,302社*を記録しました。

昨年度は審査対象総数2,593件(企業数1,168社)、受賞総数は1,263件(603社)で、審査対象総数は約116%、企業数は、約111%とそれぞれ大幅に増加しています。特に、今年度は従来からの大手製造企業に加えて、全国の中堅・中小企業、デザイン事業所の参加が増えており、さらにマンションデベロッパーやIT関連サービス企業、自治体、教育機関、NPOなど非製造業からの参加も増えました。また今年度から、日本国内だけでなく海外で販売される商品の応募も可能としたため、携帯電話やIT関連機器などで韓国や台湾の企業からの応募が大幅に増加したことも特徴です。これは産業界の枠を超えたデザインに対する社会的な関心の高まりとともに、デザインの役割に対する期待の高さも示しています。

*7月28日時点。本年4月26日から6月15日までの募集期間に応募受付した件数および審査委員による推薦対象件数、本年1月から2月に実施した東南アジア各国を対象とする「アセアンデザインセレクション」の応募数の総計。

今年度で49回目となる2005年度グッドデザイン賞は、商品デザイン、建築・環境デザイン、コミュニケーションデザイン、新領域デザインの4部門で構成されます。身近な日用品から、専門的な用途を持った産業機器、さらにデザインを活用したまったく新しい取り組みに到るまで、各分野で最新の製品やプロジェクトが応募されています。さまざまな提案性が盛り込まれたデジタル関連製品や白物家電製品、公共的な分野を対象とするサービスシステム、全国で行われている新しいビジネスモデルづくりに向けた実験的な事業など、デザインを切り口に現代の日本の産業と暮らしのあり方が見渡せる内容になっています。

今後は8月末に行われる2次審査を経て、10月3日に今年度の受賞結果の発表、10月25日にグッドデザイン大賞の決定と発表を行います。

なお8月25日から27日まで東京ビッグサイトで開催される「グッドデザイン・プレゼンテーション2005」では、これら幅広い分野にわたる応募対象を一般に公開します(一部の非公開扱いとなる対象を除きます)。

グッドデザイン賞ウェブサイト:<http://www.g-mark.org>

～本件に関するお問い合わせ先～

「2005年度グッドデザイン賞」広報事務局 担当:鈴木、田中
東京都港区北青山3-5-12 青山クリスタルビル8F (株)オズマピーアール内
TEL:03-3403-0435 FAX:03-3403-0289